



福岡医発第2080号(地)

平成15年2月21日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 関 原 敬 次 郎



准看護師パンフレットの送付について

標記の件につきまして、日本医師会より別添のとおり送付されましたので、お知らせいたします。

本パンフレットは、カリキュラム改正や補助金の削減、生徒の減少等准看護師を巡る環境が厳しい中、准看護師制度の拡充と財政支援を国に働きかけるため、日本医師会が議員向けに作成されたものであります。

つきましては、貴会用1部を送付いたしますので、准看護師制度の重要性をご理解いただき、ご利用願います。

地域医療を守るためには
准看護師さん達の
力が必要です！



日本医師会

日本は世界に例をみない速さで 少子高齢化が進んでいます。

高齢化

- 高齢者（65歳以上人口）は増加の一途をたどり、

平成12年（2000年）・・・約2200万人

平成27年（2015年）・・・約3300万人

になると予測されています。

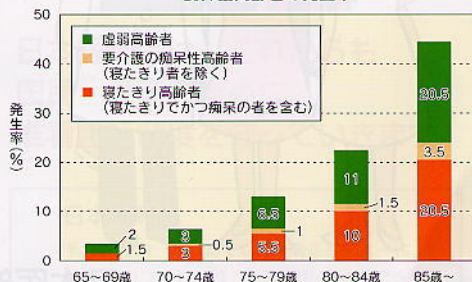
15年で1100万人増

さらに、平成29年（2017年）には前期高齢者人口（65～74歳）が減少に転じる一方、後期高齢者（75歳以上）は平成41年（2029年）まで増加すると予測されています。



そして、75歳を過ぎると、加齢に伴って、虚弱・痴呆・寝たきりの要介護高齢者の発生率が急激に高くなります。

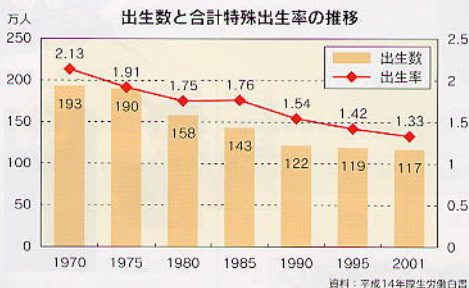
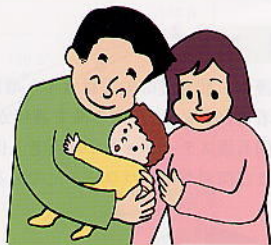
要介護高齢者の発生率



資料：平成11年厚生白書

少子化

- 平成13年の合計特殊出生率は1.33にまで低下し、15歳未満の子供の数は、平成14年4月現在で1817万人と、15年連続で最低記録を更新しています。



未曾有の少子高齢時代を迎えた
日本における看護職の需給について
真剣に考える時期に来ています。

日本の医療現場は、看護師・ 准看護師・看護補助者（三層構造） によって支えられています。

現 状

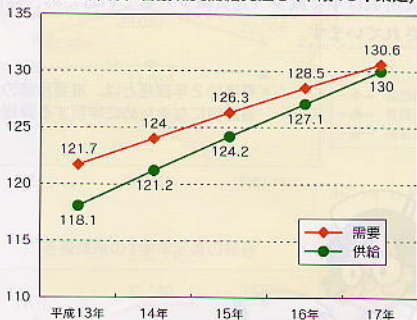
- 看護師・准看護師の人数は年々増加し、平成12年末現在で約68万人の看護師、約42万人の准看護師が、病院・診療所をはじめとして、訪問看護ステーションや介護老人保健施設等で活躍していますが、まだまだ深刻なマンパワー不足であることに変わりはありません。



看護職の需給見通し

- 厚生労働省は平成17年に概ね130万人で看護師等の需要と供給のバランスがとれると予想しています。
しかし、日医では、その先の平成27年には介護要員も含めて241万4千人の看護・介護要員が必要と算出しています。これは平成8年(139万5千人)に比べると、約20年間に102万人の増加が必要になる計算です。

厚生労働省 看護職員需給見通し(平成13年策定)



日本医師会の平成27年看護・介護職員等常勤従事者数の将来予測

(万人)

	平成8年	平成27年	増減数
医療機関における看護・介護職員等	117.9	155.5	37.6
在宅サービス・福祉施設等における看護・介護職員等	21.6	85.9	64.3
看護・介護職員等の合計	139.5	241.4	101.9

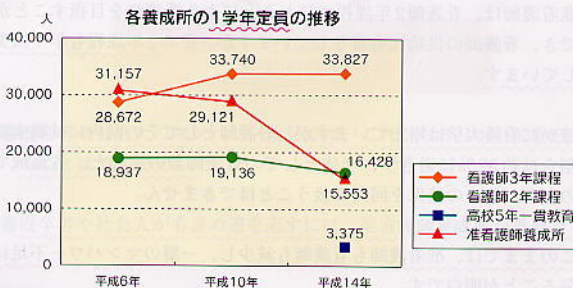
資料：日本医師会「2015年医師のグランドデザイン」

看護職の養成才

- 平成14年3月には、看護師約4万6千人（看護師2年課程*含む）、准看護師約2万2千人が養成所を卒業しましたが、看護師2年課程と准看護師養成所数は年々減少（定員減少）しているため、養成才の脆弱化が危惧されています。

*看護師2年課程とは、准看護師の方が
看護師になるために学習する課程のことです。





※平成14年4月の准看護師養成所カリキュラム改正により、高校衛生看護科の多くは看護師養成5年一貫教育へ移行するか、看護教育を停止した。

看護師2年課程と准看護師養成所の減少により、日本の看護職不足はさらに深刻な事態を迎えようとしています。

このまま准看護師養成所が 減少すると・・・

- 准看護師は、戦後、地域医療を守るために、医師会が中心となって幾多の困難を乗り越え養成してきました。
しかし、平成14年からの新カリキュラムによる授業時間数増、専任教員増、実習病院不足、補助金の減少、また准看護師廃止運動等の影響により、やむなく、閉校に至るケースが増えています。
- 准看護師は、看護師2年課程で学ぶことにより看護師を目指すことができ、看護師の供給にも寄与していますが、その2年課程も年々減少しています。
- 確かに看護大学は増えていますが、看護師としてその県内に就職する割合は約52%に過ぎず、全体としての看護師数の増加と、各地域でのマンパワーの確保を同列に扱うことはできません。
- このままでは、准看護師も看護師も減少し、一層のマンパワー不足に陥ることが明白です。
- イギリスやオランダ等のヨーロッパ諸国では、マンパワー不足により、アジアやアフリカからの移民看護師に頼らねばならない状況にまで至っています。

日本も外国の人材に頼る道を選択するのでしょうか？

これからの少子高齢社会の 医療現場を支えるのは？



- 既卒者や社会人のマンパワーなしでは、これからの日本の医療を支えることはできません。
- 既卒者や社会人が看護の道を志すには、准看護師養成所が最適です。

- ◆ 准看護師養成所は2年間の教育期間で、家庭の仕事をしながら、あるいは働きながらも学ぶことができます。
- ◆ 実際に、近年では社会人の方の入学が増え、熱心に学習しています。
- ◆ 准看護師養成所は、社会人の転職・再就職のための教育機関としても有用です。



- ホームヘルパーも盛んに養成されていますが、ホームヘルパーは一定の講習受講のみ（無試験）で資格が与えられるため、個人の能力を知ることが容易ではありません。

また医療行為を行うことができないため、現場での医療ニーズに応えることができません。



**今後、准看護師が果たす役割は、
ますます大きくなります。**

准看護師を目指すには

病院、診療所、老人保健施設、
訪問看護ステーションなど、
さまざまな現場で活躍しています。

准看護師

知事試験

准看護師
養成所
2年

高校
衛生看護科
3年

中学卒業

さらに看護師を
目指したい方は、看護師
2年課程へ進学すること
により、看護師国家試験の
受験資格を得ることが
できます。

中学卒業以上の学歴が
あれば、どなたでも学ぶこ
とができます。社会人の方も、
大勢熱心に学んでいます。



おわりに

准看護師の養成停止を主張する方たちもありますが、病める患者さんの看護をしたいという優しい気持ちを持った人が、看護職になるための道は、たくさんあってもよいのではないのでしょうか。

お年寄りから子供まで安心して暮らせる社会をつくるために。



**日本医師会は、これからも
国民・患者のために、
准看護師制度を守っていきます。**

日本医師会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

電話 (03) 3946-2121 Fax (03) 3946-6295